

# 総務水道

## 一般会計補正予算

交付金が増加しても事業費総額は変わらないが。の質疑に1億1千500万円市債を減額、4千160万9千円は一般財源の減額。新たな事業追加はない。賛成全員で可決。

**平成22年度一般会計予算**

路線バスについての質疑に路線バス運行補助金対象路線は、輸送人員が増加傾向で今後も補助を継続。22年度は新

ある。平成20年度病気休暇者は15名、分限休職者は7名。3名が復帰。賦課徴収費の増加については24年度評価替え地220地点で実施。武操跡地の別鑑定を行う。また、駅前サービスセンターの期日前投票所の導入については駐車場、事務スペース、職員確保等の課題を検討した結果、実施は難しい。現在使用している会議室を改修する。年1億円の黒字がある。補修のための基金創設については理想的だが現下の財政状況では難しい。地方特例交付金については子ども手当と児童手当で4千900万、住宅ローン控除減収分7千400万エコカー減税の減収分2千600万。



吉川駅北口

駅開業に向け調整の場が必要であるが道路運送法に基づく協議会の設置は必要ない。までは、無作為抽出市民30人で構成し総合振興計画の検討材料を抽出したいとのこと。職員の健康問題については、医師による面接指導の制度がある。平成20年度病気休暇者は15名、分限休職者は7名。3名が復帰。賦課徴収費の増加については24年度評価替え地220地点で実施。武操跡地の別鑑定を行う。また、駅前サービスセンターの期日前投票所の導入については駐車場、事務スペース、職員確保等の課題を検討した結果、実施は難しい。現在使用している会議室を改修する。年1億円の黒字がある。補修のための基金創設については理想的だが現下の財政状況では難しい。地方特例交付金については子ども手当と児童手当で4千900万、住宅ローン控除減収分7千400万エコカー減税の減収分2千600万。地方交付税安全率は、5千300万弱の安全。市債の発

# 委員会概要

教福祉、3月10日、11日にした。

常任委員長が要約しました。に記載していますので、正ご覧ください。

# 建設生活

## 市道の路線認定

今回、未整備状態なのに路線認定をする理由は、等の質疑に、吉川美南駅にアクセスする通りから、電線・電柱が設置できない規制を考えおり、電線共同溝の整備等に関する法律により、事前に路線認定をしなければならないことからである、等の答弁。討論なし、賛成全員で可決。

**工事請負契約変更契約の締結**

今回は、擁壁が歩車道境界ブロックの下にあつたため目視確認ができず、変更契約となつた、との答弁。討論なし、賛成全員で可決。

## 一般会計補正予算

高久ポンプ場の修繕は、等の質疑に対し説明並びに答弁を受け、討論なし、賛成全員で可決。

**下水道事業特別会計補正予算**

共保雨水ポンプ場と高久雨

建築基準法に基づく手数料条例の一部改正

なぜ今値上げするのか、等の質疑に、改正前と比較して審査に1・6倍程度の時間を要している、等の答弁。討論なし、採決の結果、賛成多数で可決。



高久ポンプ場